

# 「群馬県民会館のあり方検討部会」設置(案)

## 1. 「群馬県民会館」を巡る課題

- ◎ 昭和46年(1971年)に、県内唯一の2000席級の多目的ホールとした開館したが、築後 43年を経過し、建築、電気設備、機械設備、舞台等、あらゆる分野で劣化の進行が顕著である。
  
- ◎ 開館以降、県内各市町村には多くの文化ホールが整備され、現在、50を超える文化ホールが点在し(1000席以上の収容力を持つホールは県内に11施設)、また、今後、高崎芸術文化ホールなど、大規模ホールの建設も予定されている。

## 2. 部会の構成(案)

### (1) 委員

現行委員の中から6名を指名する。

### (2) オブザーバー

学識経験者、施設利用者、周辺団体等、10名程度のオブザーバーを置く。

## 3. 部会での検討内容

- ◎ 群馬県民会館の建設当初と比べての優位性や拠点性を含め、将来的な同館の役割や将来像について検討する。
  
- ◎ ソフト面(将来像)とハード面(維持・改修の必要性)の両面について検討する。

## 4. 知事への答申

平成27年度～平成28年度の2ヵ年度にわたり検討し、知事に答申する。

**「群馬県民会館のあり方検討部会」委員(案)**

		氏名	性別	職種
1	学識経験等	<b>熊倉 浩靖</b>	男	群馬県立女子大学群馬学センター副センター長・教授
2	学識経験等	<b>小林 聡</b>	男	上毛新聞社 文化生活部長
3	文化活動支援	<b>近藤 圭子</b>	女	きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表
4	文化活動実践	<b>志尾 睦子</b>	女	シネマテークたかさき代表
5	学識経験等	<b>友岡 邦之</b>	男	高崎経済大学地域政策学部 教授
6	公募	<b>藤橋 誠</b>	男	公募委員